

新年のご挨拶

島根県石油協同(商業)組合
理事長 大賀 誠一

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスも昨年11月頃から収束に向かっているように思いましたが、1月に入りオミクロン株が島根県でも増えてきており、今まで通り「手指のアルコール消毒、マスクの着用、三密の回避、マスク会食」等を徹底して感染防止対策に取り組んで頂きたいと思います。いずれにしましても、コロナ以前の状況には戻れないと思われまますので、ウイズコロナで上手にコロナと共生していくしかないと思います。

新年のご挨拶として、3点についてお話させていただきます。

1点目は、「石油増税反対総決起大会」についてであります。

昨年11月17日に東京で「石油サプライチェーン維持強化」をスローガンに開催されましたこの大会に、石原俊太郎油政連会長、曳野律夫専務理事と私の3人で参加し、石油諸税の軽減等を強く訴えてきました。大会で強く印象に残った出光泰典全石連副会長の挨拶をご紹介します。

「SSは地方経済を支える象徴的な存在の1つで、うち7割が小規模事業者だ。昨年のカーボンニュートラルや2035年新車販売100%電動化という政府方針以降、業界は不安や動揺で苦しんでいる。化石燃料が悪とされ、風評被害によりSS経営の未来も不安が大きくなっている。現時点でこれだけの悪影響が生じている。炭素税や地球温暖化対策税の導入も矛盾している。住民拠点SSの活用のためにも増税は反対だ。」という力強い意志表明がありました。

2点目は、ガソリンのギフト券についてであります。昨年4月から実証実験を開始していますが、各団体の協力を得るためにも早く全国展開をしないとイケません。中国支部は第2グループとして今年8月スタートに向けて準備を進めたいとの全石連の意向であります。今後、皆様のご協力をお願いします。

3点目は、共同事業キャンペーンの件であります。9月～11月の増強キャンペーンにおいては、共同事業委員長の牛尾茂典支部長を中心に各支部長のご協力を頂き、3種目とも全石連目標を達成しました。誠にありがとうございました。年間目標についても後3ヶ月となりました。現在10年連続目標を達成しておりますが、残りが厳しい数字となっておりますので、目標達成に向けて皆様方のご協力をよろしくをお願いします。

また、石原副理事長が「地方創生委員会NL 第6弾」と「次世代エネルギーと未来」という番組を制作され、新年から放映されました。非常に良い番組でした。YouTubeでも配信されていますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。

最後に、組合員の皆様の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。

